

令和5年度 当初予算案等説明補足資料

目 次

今宿野外活動センターのあり方検討について(検討状況報告) . . . 1 頁

市 民 局

今宿野外活動センターのあり方検討について(検討状況報告)

1. 検討の趣旨

- 今宿野外活動センター（以下「センター」という。）は、野外活動、自然教育等を行う施設として昭和 47 年に開設され、50 年が経過している。
- センターは老朽化が進むなど課題を抱える一方で、良好なアクセスや周辺自然環境など、身近で市民が野外活動を行える魅力を持っており、「Fukuoka Green Next」では「遊びの森ゾーン」の活動拠点に位置付けられている。
- これらの状況を踏まえ、今後とも野外活動の場として市民に親しまれ、より魅力ある施設となるよう、施設のリニューアルや運営の方向性など、今後のあり方を検討するもの。

2. 施設の概要

- ・所在地 福岡市西区今宿上ノ原 217-2
(玄海国定公園内)
- ・供用開始 昭和 47 年 11 月
- ・敷地面積 約 33ha (うち利用面積 約 9ha)
- ・指定管理料 指定管理料支出 45,318 千円 (R1)
施設使用料収入 458 千円 (R1)



3. 施設の魅力・課題

【施設の魅力】

- ◆ 博多湾を見下ろすロケーション
- ◆ 市街地からの容易なアクセス
- ◆ 水遊びができる敷地内の七寺川
- ◆ 近接する叶岳・高祖山登山口



博多湾が望める立地



七寺川での川遊び

【施設の課題】

- ◆ 施設の老朽化(築 50 年が経過)
- ◆ 大人数仕様の宿泊施設
- ◆ 宿泊者数の減少(ピーク時から大きく減少)
- ◆ 低額な使用料収入(指定管理料の約 1%)



外壁の剥離



大人数向けのロッジ

市民が気軽に自然を楽しむ場としての魅力は持つものの、施設の老朽化や利用形態の変化等に対応できておらず、財政負担も生じており、施設のリニューアルや運営方法の見直しが必要。

4. ヒアリング意見

あり方の検討にあたり、アウトドア関連等の民間事業者や施設管理者、地元へのヒアリングを実施

【主な意見】

- 都心部からのアクセスが良く、敷地内に川があるなど、**立地条件等のポテンシャルは高い。**
- **野外活動を体験・実施できる場所として重要な場所**
- 子供たちが遊べる場所（日帰り利用）は残してほしい。
- センター発着のコミュニティバスと連動するなど**集客できる施設**としてほしい。
- **地産品などの販売エリア**を設けてはどうか。
- 叶岳などの登山客の利用も踏まえた**リニューアル**をしてほしい。

5. リニューアルの基本的な考え方

- ・ 市民ニーズや利用形態の変化に柔軟に対応し、より魅力ある施設に再生
- ・ 周辺自然環境など**施設が持つ魅力を最大限活用**して**多様な自然体験を提供**し、**賑わいを創出**
- ・ より質の高いサービスの提供と**財政負担の縮減**を図るため、**民間の創意工夫やノウハウを導入**

【リニューアルのイメージ】

必要な機能（想定）	考え方・内容
自然体験機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 叶岳や七寺川などに囲まれた豊かな自然環境を活かして、誰もが気軽に自然体験や野外活動ができる場を引き続き確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自由広場での野外活動等の場の確保 ・ 自然体験プログラムの実施 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>野外料理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昆虫観察</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>野外ヨガ</p> </div> </div>
宿泊・デイキャンプ機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 民間のノウハウや創意工夫により、テントサイトの充実やデイキャンプ利用を想定した設備など、利用者ニーズに対応した、より質の高いサービスを提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ テントサイトの拡充 ・ 電源付サイトの導入などによる利便性向上 <div style="text-align: right;">  </div>
地域連携機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域農産物の提供や集客イベント開催などにより、センター周辺を含めた地域の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域農産物の販売 ・ 産直マルシェなどの開催 <div style="text-align: right;">  </div>

6. 今後のスケジュール（案）

事業手法や事業期間等について詳細の検討を進め、民間事業者公募に向けて取り組んでいく。

